

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 P S J II - 1 パートC (三菱Jケミカルカラー印画紙用発色現像スタート液)
会社情報 会社名 : 三菱製紙株式会社
住所 : 〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号
担当部門 : 技術環境部
問い合わせ窓口 : 機能商品事業部 イメージメディア営業部 (電話番号03-5600-1508)

2. 危険有害性の要約

GHS分類 (分類基準は日本方式)

健康に対する有害性
急性毒性 (経口) : 区分4

*危険/有害性の大きさ (区分) は、数字の小さいほど危険性/有害性が高い。
*上に記載のない危険有害性は、「分類対象外」または「分類できない」である。

ラベル要素
絵表示

感嘆符

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 飲み込むと有害

注意書き

【予防策】

粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
この製品を使用する時は皮膚や目、衣服に触れないようにし飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋・保護衣・保護マスク・保護メガネを着用すること。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗浄、石鹸で洗い落とすこと。
皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
ばく露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出した場合 : 適切な吸収剤 (ウエスやタオル) や回収方法により回収すること。
「4. 応急措置」の項を参照。

【保管】

一定の場所を定めて保管すること。
直射日光を避けた涼しい場所に保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。
「7. 取扱い及び保管上の注意」の項を参照。

【廃棄】

内容物および容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。段ボールは、都道府県及び地域の規則に従って廃棄すること。(「13. 廃棄上の注意」の項を参照)

【使用上の注意】

適切な保護具を着用して取り扱う。作業後には手、顔をよく洗う。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
 一般名 : 発色現像スタート液

成分及び含有量	化審法	CAS No.	含有量%
p-フェニレンジアミン誘導体	(3)-317	25646-71-3	100

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、安静につとめてください。症状が続くようであれば、医師の手当てを受けてください。
 皮膚に付着した場合 : 直ちに石鹼を用いて大量の水で十分に洗い流してください。汚染された衣服等は脱ぎ、充分洗浄した上で使用してください。症状が続く場合は医師の手当てを受けてください。
 眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で数分間目を洗浄したのち、症状が続くようであれば眼科医の手当てを受けてください。
 飲み込んだ場合 : 水で口の中を良く洗ったのち、医師の手当てを受けてください。
 応急措置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用してください。

5. 火災時の措置

消火剤 : 散水、炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等
 使ってはならない消火剤 : 通常の条件下では、不適切な消火剤はない。
 特定の消火方法 : 周辺火災の場合、可能ならば移動可能な容器は速やかに安全な場所に移してください。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させてください。漏出した物質や消火用水等が、河川等に排出されないよう配慮してください。消火活動は出来るだけ風上から行ってください。
 保護具等 : 消火の際は適切な保護具（自給式呼吸器具、及び完全保護具等）を着用してください。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋等）を着用して回収してください。
 保護具及び緊急時措置 :
 環境に対する注意事項 : 廃液が河川等に排出されないように注意してください。
 除去方法 : 漏洩した薬品を適切な方法で回収したのち、漏洩箇所を大量の水で洗い流してください。回収したものを廃棄の場合は関係法令に従ってください。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項 :
 技術的対策 : 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにしてください。取扱い後に、手や顔等をよく洗ってください。
 局所排気・全体換気 : 作業場は換気を充分に行ってください。
 注意事項 : 作業後には、手、顔等をよく洗ってください。
 保管 : 直射日光を避け、涼しい場所に置いてください。開封後は全量使い切ってください。子供の手の届くところには置かないでください。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業場は換気を充分に行ってください。また、作業場の近くには手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔をよく洗ってください。

管理濃度 安衛法管理濃度 : 未設定
 許容濃度 日本産業衛生学会 : 未設定
 ACGIH/TLV : 未設定
 保護具 呼吸器 : 適切な呼吸用保護具
 手 : 不浸透性保護手袋
 眼 : 保護眼鏡、及び顔面保護具
 皮膚及び身体 : 保護衣

9. 物理的及び化学的性質
- | | | | |
|--------|-----------|-----|----------------|
| 形状 | : 個体 (紛体) | 色 | : 白色～褐色 |
| 臭い | : 微かな臭気 | pH | : - |
| 沸点 | : データなし | 融点 | : 126～131℃ |
| 引火点 | : データなし | 溶解度 | : データなし (水に易溶) |
| 蒸気圧 | : データなし | 比重 | : - |
| 自然発火温度 | : 535℃ | | |
10. 安定性及び反応性
- | | |
|------------|--------------------------|
| 安定性 | : 通常の使用条件では安定である。 |
| 反応性 | : 強アルカリを反応する。 |
| 避けるべき条件 | : 直射日光 |
| 混触危険物質 | : 強アルカリ |
| 危険有害な分解生成物 | : 硫黄酸化物、窒素酸化物、一酸化炭素、炭酸ガス |
11. 有害性情報
- | | |
|------------------|---|
| 急性毒性LD50 | : >400mg/kg (計算値、ラット経口
誤飲は有害) |
| 皮膚腐食性・刺激性 | : 皮膚を刺激するおそれがある。
人によってはかぶれを起こすことがある。 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | : 眼を刺激するおそれがある。 |
12. 環境影響情報
- | | |
|---------|---------|
| 生態毒性 | : データなし |
| 残留性・分解性 | : データなし |
| 生態蓄積性 | : データなし |
13. 廃棄上の注意
- 自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上、産業廃棄物処分の許可を受けた業者に産業廃棄物管理票 (マニフェスト) を添えて、運搬、処理を委託してください。
廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法：産業廃棄物、水質汚濁防止法：排水基準、下水道法：下水の排除の制限】
汚染容器・包材 : 内容物を完全に除去した後に処分してください。
14. 輸送上の注意
- 船舶輸送は危規則の規定に従ってください。航空輸送はIATA規則の規定に従ってください。
- | | |
|-------------|-----------------------|
| 国連番号 | : UN3077 |
| 国連分類 | : クラス9 有害物質 (環境有害性物質) |
| 容器等級 | : III |
| 緊急時応急措置指針番号 | : 171 |
15. 適用法令
- | | |
|-----|------------------------|
| 安衛法 | : 非該当 |
| 化管法 | : 非該当 |
| 毒劇法 | : 非該当 |
| 消防法 | : 非該当 |
| 船安法 | : 環境有害性物質 (有害性物質：クラス9) |
| 航空法 | : 環境有害性物質 (有害性物質：クラス9) |
16. その他の情報 (記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常の手配を前提としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも充分でないため、取扱いには充分注意してください。本 SDS に記載のラベル要素は、実際の製品には表示されない場合があります。